

授業改善推進プラン

旭丘中学校

教科名 国語科

担当教員 田中 恵一・千葉 桂子

1. 昨年度の授業改善の成果と課題

【成果】

自分の考えをまとめる時間を設け、話し合い活動を行うことで、考えを整理して自分の意見を発表する、また相手の意見を聞くことができるようになった。

【課題】

授業を意欲的に取り組み、理解力が高い生徒と、消極的でなかなか自分の考えを整理できなかったり表現できなかったりする生徒の、大きく二つのグループに分かれている。ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れることで、消極的な生徒たちが活動的に取り組み、全体が意欲的に活動し、発言ができる環境が必要である。

2. 今年度の本校生徒の学習指導上の課題

1 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた文章を書き表す力を付ける。 ・場面の状況や心情を読み取る力を付ける。 ・目的に応じて、話す力、聞く力を付ける。 ・言語についての知識を豊かにする。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や与えられた課題だけにとどまらず、自主的に発展させようという意欲をもたせるとともに自分で学習を深めていく力を付ける。 ・自分の考えを他の人に伝えるとともに他の人の考えをしっかりと聞く態度を養う。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話す」、「書く」を通して表現力、理解力を付ける。
2 年	<p>①基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて、工夫して文章を書く力を付ける。 ・様々なジャンルの文章を正確に読み、理解する力を付ける。 ・自分の意見や考えをもち、相手に伝えることができるようにする。 ・語彙を豊かにし、漢字の読み書きを定着させる。 <p>②主体的な学習態度、学ぶ意欲に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことや考えたことを進んで発表し、相手にわかるように伝える力を付ける。 ・自ら課題を探し、意欲的に取り組む態度を育てる。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進し、豊かな心を育てる。
3 年	<p>① 基礎的・基本的内容の定着に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて書き方を工夫し、分かりやすい文章を書く力を付ける。 ・情景描写や登場人物の言動から場面の状況や登場人物の心情をとらえる力を付ける。 ・指示語や接続語、段落相互の関係に留意しながら、文章を的確に読み取る力を付ける。 ・言語についての知識を豊かにするとともに、十分に使いこなす力を身に付ける。 <p>② 主体的な学習態度、学ぶ意欲などに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じて、適切な話し方や話題の選択をできるようにする。 ・課題の解決や話し合いの場において、積極的に自分の考えを述べたり、他の人の意見を聞き自分の考えを深めようとしたりする態度を育てる。 ・自ら課題を探し、意欲的に取り組む態度を育てる。 <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な思考力や想像力を養い、言語生活を豊かにする。

3. 今後授業を行っていく上での「指導方法の課題分析」と「具体的な授業改善案」

	指導方法の課題	具体的な授業改善案
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「主述の整った文や目的に応じた文章を書く力」を付けさせる。 ・「読解力・表現力」を付けさせる。 ・「漢字力・語彙力」を養い、定着させる。 ・「理解力」を付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短文の練習から始めて、徐々に長文につなげていくようにする。 ・文法の知識を基に、主述や係り受けのわかりやすい文章を意識して書く。 ・ワークシートや発問、授業形態を工夫する。 ・様々な種類の文章を読ませるようにする。 ・指示語や接続詞に着目させ、正確に文章を読み取らせる。 ・ワークを活用し、的確な発問の理解と答え方の練習をする。 ・漢字学習の習慣化と定着を図る。わからないことや不確かなことは辞書を引いて確かめる習慣を付ける。 ・単元の中で、話し合いの時間をとり、互いに意見や考えを伝える。 ・理由や根拠を明確にし、理解するための手立てを伝える。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「相手や目的に応じた文章を書く力」を付けさせる。 ・「表現力」を付けさせる。 ・「読解力」を付けさせる。 ・「話す力・聞く力」を付けさせる。 ・「漢字力・語彙力」を付けさせる。 ・読書の励行 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書く機会を多くもち、本文や資料を参考に、条件を変えながら書くことに慣らしていく。 ・自分の思いや文章の意味が効果的に伝わるように状況に応じた表現力を身につける。 ・表現のねらいや工夫を、場面と結びつけて読み取ることができるよう、語彙にも注意して読ませる。 ・自分の考えや意見を発表させる機会を多くもつ。 ・「聞く力」を高めるため、テープや発表会を利用した聞き取り学習を意識的に行う。 ・小テストや確認テストを継続的に行い、漢字学習の習慣化と定着を図る。 ・読書ノートを作成し、継続的に読書活動に取り組みさせる。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す力・聞く力」を付けさせる。 ・「書く力」を付けさせる。 ・「より正確に読む力」を付けさせる。 ・漢字や言葉の特徴やきまりについての理解を深めさせる。 ・読書の量・幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・討論会や意見発表などの場で、根拠を述べて積極的に自分の考えを述べたり、他の人の意見を聞き自分の考えを深めたりしていく態度を育てる。 ・論理の展開や資料の引用方法を工夫して、説得力のある文章を書けるようにする。また、推敲の習慣を身に付けさせる。 ・文章の内容を正確に把握し、考察する力を身に付け、自分の意見をもたせる。 ・漢字ノートや辞書を使い、日常で実際に使用し、言語生活を豊かにする。 ・相手や場面にふさわしい言葉遣いができるようにさせる。 ・幅広い読書活動を通して、感受性を養い、様々な知見に触れさせる。

4. その他(補充的内容及び発展的内容に関する指導について、コンピュータの活用など)

<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の励行。 ・各学級に学級文庫を設置し、図書委員会と国語科で連携して、授業外でも読書指導を進めていく。 ・漢字学習への取り組みに力を入れる。 ・目的に応じた文章、新聞を書く機会を多く設け、書く力を身につけさせる。 ・古文のさまざまな文章に触れさせる。
--